

日本研究・知的交流事業に必要な経費

米州交流事業費

1. 日本研究事業費

- (1) 日本研究調査〔米〕
- (2) 日本研究客員教授派遣（直接派遣）〔米〕
- (3) 日本研究拠点機関助成〔米〕
- (4) 日本研究スタッフ拡充助成〔米〕
- (5) 日本研究リサーチ・会議等開催（助成）〔米〕
- (6) 日本研究リサーチ・会議等開催（主催）〔米〕

2. 人物交流事業費

- (1) 新渡戸フェローシップ
- (2) 小淵フェローシップ
- (3) 日本研究フェローシップ（学者・研究者）〔米〕
- (4) 日本研究フェローシップ（論文執筆）〔米〕
- (5) 日本研究フェローシップ（短期）〔米〕

3. 催し等事業費

- (1) 知的リーダー交流（国際会議出席助成・派遣）〔米〕
- (2) 知的リーダー交流（国際会議出席助成・招へい）〔米〕
- (3) 知的交流会議等開催（助成）〔米〕

4. 文化資料事業費

- (1) 図書寄贈〔米〕

米州交流事業費

1. 日本研究事業費 (1) 日本研究調査〔米〕

海外の日本研究機関・日本研究者に関するディレクトリーを作成する。

合計額 7,662,845円

	事業名	国	期間	事業内容
1	北米日本研究調査	北米地域区分 困難	05.04.01～ 06.03.31	北米における日本研究の実態を把握するため、北米における日本研究調査を実施
2	中南米日本研究調査	中米地域区分 困難	05.04.01～ 06.03.31	中南米地域の日本研究機関調査を実施し、日本研究機関と研究者のディレクトリーを作成

1. 日本研究事業費 (2) 日本研究客員教授派遣（直接派遣）〔米〕

海外諸大学の日本研究講座を支援するため、人文・社会科学分野の学者・研究者を派遣する。

合計額 8,486,676円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	久松 佳彰	東洋大学助教授	グアテマラ	05.08.14～ 05.08.24	ラファエル・ランディバル大学	アジアの社会文化、経済発展、国際関係、知的財産管理等に関する講義
2	嘉本 伊都子	京都女子大学助教授	アルゼンチン	05.08.05～ 05.09.03	ラ・プラタ国立大学国際関係研究所	日本人の国際結婚に関する講義
3	岡本 由美子	同志社大学教授	チリ	05.07.31～ 05.09.02	チリ大学国際問題研究所	日本の国際政治およびラテンアメリカとの経済関係等に関する講義・セミナー
4	宮島 達夫	京都橘女子大学教授	ブラジル	05.08.02～ 06.10.03	サンパウロ大学	現代日本語文法に関する講義

1. 日本研究事業費 (3) 日本研究拠点機関助成〔米〕

海外の日本研究において特に中核的な役割を担う機関を指定して、その日本研究部門の研究費、運営費などを中長期にわたって総合的に助成する。

合計額 42,853,443円

	機関	国	期間	事業内容
1	米加大学連合日本研究センター	日本	05.04.01～ 06.03.31	米国・カナダにおける日本専門家の養成を目的とした。主として加盟17大学の日本研究専攻大学院生に対し、将来の専門活動に資するべく、上級日本語教育の研修を実施
2	アルバータ大学	カナダ	05.07.01～ 06.06.30	対カナダ日本研究特別助成（スタッフ強化助成）

	機関	国	期間	事業内容
3	ヨーク大学	カナダ	05.07.01～ 06.06.30	対カナダ日本研究特別助成（スタッフ強化助成）
4	スタンフォード 日本センター京 都日本研究セン ター	米国	05.09.01～ 06.03.31	主として米国の加盟14大学の日本研究専攻学部生を対象とする日本語・日本文化集中研修センター。3年生を対象に8カ月間の集中講義

1. 日本研究事業費	(4) 日本研究スタッフ拡充助成〔米〕
------------	---------------------

海外の大学などが日本研究に関連した常勤の教官ポストを増設する場合に、最初の3年間に限り当該者の給与と社会保障費を助成する。

合計額 12,979,564円

	機関	国	期間	事業内容
1	カリフォルニア 大学リバーサイ ド校	米国	05.07.01～ 06.06.30	日本文学助教授の給与助成（3年目）
2	ペンシルバニア 大学	米国	05.09.01～ 05.12.31	政治学助教授の給与助成（4年目）
3	エモリー大学	米国	05.09.01～ 06.08.31	日本現代文学・文化助教授の給与助成（2年目）
4	ポートランド州 立大学	米国	05.09.15～ 06.09.14	日本経済学助教授の給与助成（2年目）

1. 日本研究事業費	(5) 日本研究リサーチ・会議等開催（助成）〔米〕
------------	---------------------------

海外の高等教育・研究機関が実施する日本研究に関連した共同研究・会議、セミナー・ワークショップや集中講座などについて、経費の一部を助成する。

合計額 24,430,108円

	団体	国	期間	事業名	事業内容
1	トロント大学	カナダ	05.04.01～ 05.05.01	「日本文学における都市・身体・テキスト」に関するワークショップ	日本・カナダ・米国の日本文学者が参加して「日本文学における都市・身体・テキスト」に関するワークショップを開催。背景としては、現代文学の研究はテキストだけを対象としても深まりがなく、作品が成立した社会的時代的環境、文化事象の関わりにおいて考察する必要があることによる。成果は論文集の出版や研究誌掲載等によって公表された

米州交流事業費

	団体	国	期間	事業名	事業内容
2	カナダ日本研究学会	カナダ	05.04.01～ 06.03.31	カナダ日本研究学会アルバータ会議2005「東アジア、世界の繋がり」とアイデンティティ」	日本研究に関するカナダ唯一の学際的な学会であるカナダ日本研究学会（JSAC）の年次総会。アルバータ大学が会場。2005年はカナダアジア研究学会（CASA）の東アジア部門と共同で会議を行ない、日本研究者とアジア研究者とのネットワーク構築を図ったほか、2005年がアルバータ州建州100周年にあたることから、アルバータ州教育省からも協力を得て、幅広い分野の研究者を巻き込んだ総会を開催
3	モントリオール大学	カナダ	05.04.01～ 06.03.31	近代日本哲学に関する共同研究	カナダの仏語圏ではまだまだあまり知られていない近代日本の哲学者とその思想を紹介する論集の刊行を最終的な目標としつつ、その第一歩として日本・カナダ・米国・フランスから合計10名ほどの研究者が集まり、会議を開催
4	米国連邦議会図書館	米国	05.04.01～ 05.10.31	「木の鏡、野原の鏡」：武満徹の人生と音楽	日本の音楽とアメリカの音楽がどのように相互に影響し合ってきたかを、武満徹を引き合いに検証する2日間のシンポジウムを開催。会議期間中に武満徹作曲の作品のコンサートを催すほか、会議開催2週間前より、武満徹作曲の音楽が使用された日本映画10本を議会図書館内で上映。会議の成果はインターネット等に掲載
5	米国社会科学研究所評議会	米国	05.04.01～ 06.03.31	日本研究博士論文ワークショップ	博士論文執筆中の大学院生12名を対象として、論文指導を行なった。大学院生と研究者のネットワークを作ることで、日本研究を専攻とする学生の孤立化を解消する。主に日本研究部門を有していない大学・研究機関に所属する学生を対象
6	北米日本研究資料調整協議会	米国	05.04.01～ 06.03.31	日本研究資料専門司書トレーナー養成ワークショップ	日本関連電子情報の需要が高まっていることを受け、日本語特有の様式で構築されたデータベース等電子情報の活用といった、専門的な技術を身に付けた日本研究資料専門司書を養成するワークショップ。2005年6月にカリフォルニア州ボモナ大学、10月にピッツバーグ大学他で開催
7	カリフォルニア州立大学チーコ校	米国	05.06.01～ 06.05.31	少女マンガの力：映像文化と社会に与える影響	日米の研究者、批評家、漫画家を集め、少女マンガが映像文化や社会に与えてきた影響に関する5日間のシンポジウムを開催。様々な分野の専門家の異なる角度からの研究発表の共有のほかに、日本のマンガパワーの世界的な現象や米国の大衆文化に与える影響について、教員・学生を含めたアメリカの一般市民に啓蒙することを目的とした
8	イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校	米国	05.07.01～ 06.06.30	米国中西部日本研究セミナー	1970年に設立された日本研究地域部会の一つで、中西部地域の日本研究者が、年5回毎年異なったホスト機関に集まり、研究会を行なってそれぞれの研究を発表・批評し、中西部地域における日本研究者の学術コミュニティを形成。研究会1回につき、2名の研究発表を行なった

	団体	国	期間	事業名	事業内容
9	ブラジリア大学	ブラジル	05.04.01～ 06.03.31	第3回ブラジル 日本研究国際シ ンポジウム	近年のブラジル国内の日本語学習者の多様化に伴う、日本研究の多様化を背景に、日本研究分野における近年の様々な研究やその成果を学際的に紹介し、研究者間のネットワーク作りを促進。日本からも研究者を招き、「日本研究と学術国際交流」、「移動の時代における個人と文化」等をテーマに講演会を開催
10	リオ・デ・ジャ ネイロ州立大学	ブラジル	05.05.01～ 05.10.31	第3回日伯国際 シンポジウム	日本とブラジルの法律研究者が集まり、司法制度改革、司法研修、陪審員制度、司法へのアクセス、環境・消費者保護に関する司法からの取組み、裁判以外の紛争解決等について6つのセッションからなる公開シンポジウムを開催し、両国の制度や現状・問題点などを比較すると共に、一般市民の関心を喚起した

1. 日本研究事業費	(6) 日本研究リサーチ・会議等開催（主催）〔米〕
------------	---------------------------

日本に関するグループ研究、調査、学術的な会議、セミナー、ワークショップなどを開催する。

合計額 1,500,000円

	団体	国	期間	事業名	事業内容
1	福岡ユネスコ協 会	日本	05.10.22	第15回「日本研 究国際セミナー 2005」	ドナルド・キーン（コロンビア大学名誉教授）および川本皓嗣（大手前大学学長）の基調講演および、「日本文学の回顧と展望-21世紀を迎えて」と題するフォーラムを、福岡ユネスコ協会との共催事業として開催

米州交流事業費

2. 人物交流事業費 (1)新渡戸フェローシップ

財団法人国際文化会館が実施している社会科学国際フェローシップ（新渡戸フェローシップ）に対する協力として、同会館により選考・推薦された研究者に対し、旅費・滞在費などを支給する。

合計額 6,385,940円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	左右田 直規	東京外国語大学 外国語学部専任 講師	マレーシア	06.03.26～ 07.03.25	マレーシア工科大学社会科学部 /マレー国民大学マレー世界文明研究所	多民族マレーシアにおける民族間関係の動態を、地域社会の政治力学のなかから浮き彫りにした。特に地方議員と有権者とを結ぶ人間関係に焦点を当て、地方議員の政治活動に同行して参与観察を行ない、元・前議員や支持者等からの聞き取り調査を行なうなど、文献調査のみならず、フィールド調査を重視
2	石井 真一	大阪市立大学大学院経営学科 研究科助教授	オランダ	05.04.01～ 06.03.31	ティルバーグ大学(オランダ) / インシアドユーロ・アジアセンター(フランス) /オックスフォード大学サイードビジネス スクール(英国)	本研究では、日本企業と欧米企業の海外市場における参入・退出行動についてのデータベースを構築した上で、日本企業の国際合弁行動に対する欧米研究者の有力な見方「トロイの木馬仮説」を実証的に検討

2. 人物交流事業費 (2)小淵フェローシップ

日米両国政府の合意に基づく「小淵沖縄教育研究プログラム」の一環として、米国の東西センター（ハワイ州）を受け入れ機関として人文・社会科学分野に係る研究活動を行なう研究者などに対しフェローシップを支給する。

合計額 6,470,374円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	新垣 裕治	名桜大学観光産業学科 助教授	米国	05.12.10～ 06.03.31	東西センター	エコツーリズム推進における環境保護、保全のあり方に関する比較研究
2	東江 日出男	琉球大学教育センター 講師	米国	05.09.01～ 06.03.31	東西センター	発展途上国におけるガバナンス、グッドガバナンスと強い社会と弱い政府を超えて

2. 人物交流事業費 (3) 日本研究フェローシップ (学者・研究者) [米]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行なう機会を提供する。

合計額 70,320,356円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	EDGINGTON, David William	ブリティッ シュ・コロンビ ア大学日本研究 センター所長	カナダ	04.09.02～ 05.08.01	立命館大学国際 関係学部	日本の都市における多文化的計 画
2	IKEDA, Satoshi	アルバータ大学 社会学部準教授	カナダ	04.12.01～ 05.11.30	京都大学東南ア ジア研究所	日本の失敗した現代化とイデオ ロギーの危機：鎖国主義、天皇 主義、企業中心主義の東アジア 地域と世界的立場からのシステ ム分析
3	AZUMA, Shoji	ユタ大学準教授	米国	05.03.07～ 06.03.16	大妻女子大学	戦後日本の政治的発話の研究
4	BOTSMAN, Daniel Vernon	ハーバード大学 歴史学部準教授	米国	05.08.23～ 06.04.22	大阪市立大学大 学院文学研究科	明治期における自由と解放－そ の思想と実践
5	ELDER, Mark Allen	ミシガン州立大 学助教授	米国	05.08.13～ 06.06.12	東京大学	経済競争を促進する日本の環境 保護政策の利用
6	FIELD, Norma	シカゴ大学教授	米国	05.01.11～ 05.09.10	市立小樽文学館	日本のプロレタリア文学：小林 多喜二の100年
7	FUJII, James Akira	カリフォルニア 大学アーバイン 校教授	米国	05.09.07～ 06.06.06	東京大学大学院 総合文化研究科	消費のネットワーク：都市の鉄 道と日本の近代化
8	FUJIMURA, Osamu	オハイオ州立大 学音声聴覚学科 名誉教授	米国	05.09.01～ 06.06.30	独立法人国立国 語研究所/国際 高等研究所	日本語のシラブルに基づく音形 論と音声学
9	GORDON, June Ann	カリフォルニア 大学サンタク ルーズ校準教授	米国	06.03.21～ 06.05.20	大阪大学	日本の新来者：学校教育とアイ デンティティとの折り合い
10	KLEEMAN, Faye Yuan	コロラド大学準 教授	米国	05.10.30～ 06.07.29	東京大学	東アジアの近代化における大日 本帝国と文化的主導
11	PARTNER, Simon Christopher	デューク大学歴 史学部準教授	米国	05.06.13～ 06.06.12	早稲田大学	「百姓」から「国民」へ：日本 農村社会の転成、1880-1910
12	PINCUS, Leslie Beth	ミシガン大学歴 史学部準教授	米国	05.01.14～ 05.07.13	立教大学法学部 五十嵐研究室	20世紀日本における反対勢力の 系譜
13	SHIPPER, Apichai	南カリフォルニ ア大学政治学部 教授	米国	05.08.02～ 06.08.01	一橋大学大学院 社会学研究科	外国人と民主主義：東京とロ ス・アンジェルスと比較研究

米州交流事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
14	SZATROSKI, Polly Ellen	ミネソタ大学準教授	米国	05.09.03～ 06.09.02	早稲田大学日本語教育研究センター	日本語話法における後置構造の文法化
15	UNGER, J. Marshall	オハイオ州立大学東亜語学文学科主任教授	米国	05.01.16～ 05.11.15	神戸大学文学部	日本語の成立における言語接触の研究
16	YODA, Tomiko	デューク大学アジアアフリカ言語文学部準教授	米国	05.06.28～ 05.10.19	東京大学大学院情報学科	マニキアンな境界の彼方：日本のジェンダー、労働と消費文化
17	YONEMOTO, Marcia	コロラド大学ボルダー校準教授	米国	05.08.02～ 06.07.01	お茶の水女子大学	日本近世にあるジェンダーの地理学
18	MARTINEZ- RODRIGUEZ, Mauricio	ロスアンデス大学エクステルナド大学講師	コロンビア	05.06.13～ 06.06.12	国際日本文化研究センター	スペイン語版インターネット日本芸能百科事典の作成
19	CORDARO, Madalena N. Hashimoto	サンパウロ大学文学部日本文化研究所副所長	ブラジル	05.12.01. ～ 06.03.31	国際日本文化研究センター	浮世絵「春画」と戯作の美学
20	GONCALVES, Simone, Neiva Loures	エスピリト・サント連邦大学建築学部教授	ブラジル	05.05.06～ 06.05.05	東京大学大学院工学系研究科	東京都市圏の形成過程における文化的背景の影響

2. 人物交流事業費 (4) 日本研究フェロウシップ（論文執筆）〔米〕

人文・社会科学分野の研究者で博士論文作成のため来日する必要がある者を招へいする。

合計額 48,105,331円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	GRIFFITHS, Caitilin, Judith	トロント大学博士課程	カナダ	04.05.07～ 05.05.04	東京大学史料編纂所特殊史料部	中世日本の遍歴尼僧の研究
2	KUAN, Seng	ハーバード大学博士課程	カナダ	05.09.08～ 06.11.07	東京大学大学院	丹下健三と仲間たち：モダニズムの国際化
3	STEAU- BALINT, Dominic	スタンフォード大学博士課程	カナダ	06.03.28～ 07.05.27	東洋大学文学部	護符の信仰：日本の宗教における道教的要素
4	CANNELL, David Richard	カリフォルニア大学アーバイン校博士課程・インストラクター	米国	05.01.04～ 06.01.03	都留文化大学文学部	元禄時代の俳句

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
5	CLULOW, Adam	コロンビア大学博士課程	米国	05.09.01～ 06.08.31	東京大学史料編纂所	東南アジアにおける日本人派兵(1587-1639)
6	DAVIS, Walter	オハイオ州立大学博士課程	米国	05.11.27～ 06.08.16	上智大学比較文化学部	王一亭と日中美術の交流
7	EASON, David Anthony	カリフォルニア大学ロサンゼルス校歴史学部大学院生	米国	04.10.05～ 05.07.04	早稲田大学文学部	日本中世移行期における紛争の文化史－十六世紀半ばから十七世紀初期までを中心に
8	FARRIER, Anna-Marie	プリンストン大学東アジア研究科大学院生	米国	04.05.06～ 05.05.05	東京大学大学院総合文化研究科語学情報科学	循環するフィクション－夏目漱石とゴシックロマン
9	FOXWELL, Chelsea	コロンビア大学博士課程	米国	05.09.05～ 06.08.28	東京芸術大学美術学部美術学科	狩野芳崖と「日本画」の誕生
10	FREIRE, Charles Patrick	カリフォルニア大学バークレー校歴史学部大学院生	米国	04.09.23～ 05.09.07	東京大学大学院人文社会系研究科	近代日本における宗教と市民社会
11	HANKINS, Joseph	シカゴ大学博士課程	米国	05.09.15～ 06.09.14	上智大学比較文化学部	認識と汚名化：多文化日本の創造
12	JESTY, Justin	シカゴ大学大学院生	米国	05.09.13～ 06.09.12	東京大学大学院総合文化研究科	戦後日本における芸術と社会活動
13	MUELLER, Laura Jean	ウィスコンシン大学マディソン校美術史学部	米国	04.09.02～ 05.06.27	学習院大学文学部哲学科	美徳の表現：江戸版画にみられる儒教の移入
14	REGAN, Martin	ハワイ大学マノア校助手	米国	05.09.01～ 06.08.31	ORA-J	様々な文化体験を通しての作曲
15	SCARANGELLO, Dominick John	ヴァージニア大学宗教学部	米国	04.07.31～ 05.07.28	駒澤大学仏教学部	協力、論争、そして伝統の創造－日本の神聖な山にて
16	SELIGMANN, Ari	カリフォルニア大学ロサンゼルス校博士課程	米国	05.09.15～ 06.06.14	東京大学	くまもとアートポリス：公共建築によるグローバリゼーション
17	SHAPIRO, Michael Isaac	カリフォルニア大学バークレー校歴史学部	米国	04.10.01～ 05.09.20	東京大学社会科学研究所	大正デモクラシー、韓国のナショナリズムと文化的ルール
18	SOLT, George	カリフォルニア大学サンディエゴ校大学院生	米国	05.09.21～ 06.09.20	上智大学	20世紀日本における食の変化とラーメン人気

米州交流事業費

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
19	STANLEY, Amy Beth	ハーバード大学 東アジア言語・ 文明学部博士課 程	米国	04.08.18～ 05.08.10	早稲田大学文学 部	徳川時代における都市文化の地 方への影響
20	TAKAHASHI, Sayumi	ペンシルバニア 大学大学院総合 文化研究科博士 課程	米国	05.06.02～ 05.09.22	慶應義塾大学	太田垣蓮月、オノヨーコとテレ サチャにおけるマルチメディア 具体性とジェンダー批評眼
21	TAKEYAMA, Akiko	イリノイ大学 アーバナ・シャ ンペン校人類学 部博士課程/リ サーチアシスタ ント	米国	04.08.20～ 05.08.19	東京大学大学院 人文社会系研究 科	欲望に応じて：東京ホストクラ ブと東京ホステスクラブにおけ る恋愛の商品化
22	ERBER, Pedro Rabelo	コーネル大学博 士課程	ブラジル	05.09.15～ 06.11.14	立教大学文学部	前衛を解釈する：1960年代の日 本とブラジルの政治的な芸術に ついて

2. 人物交流事業費 (5) 日本研究フェロシップ (短期) [米]

人文・社会科学分野の学者、研究者で、短期の訪日研究を必要とする者を招へいする。

合計額 22,422,562円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	GELLERT, James Herbert	レークヘッド大 学英文学部教授	カナダ	05.05.15～ 05.07.13	岐阜聖徳学園大 学	日本とヨーロッパの大衆的民話 の比較研究
2	TIESSEN, James Herman	マクマスター大 学デグルート・ スクール・オブ ・ビジネス准 教授	カナダ	05.06.28～ 05.07.21	－	日本で評価の高い病院：その実 践の実例と識別
3	ANGST, Linda	ルイス・アン ド・クラーク大 学助教授	米国	05.11.16～ 05.12.06	－	長命、健康旅行および民族的アイ デンティティ：沖縄で自己と 社会を構成するという事
4	CALSOYAS, Kyril	Navajo Education, Inc.	米国	05.09.01～ 05.10.30	弘前大学	Navajoの農業に適切な日本の 家族農場での農業実習および青 年教育の研究
5	CHAIKLIN, Martha	ウイスコンシン 大学助教授	米国	05.06.21～ 05.08.19	成城大学	象牙：初期日本近世(1650-1850) の輸入品および芸術性
6	GAY, Suzanne Marie	オーバーリン大学 教授	米国	06.01.25～ 06.03.26	京都大学	大山崎における中世の商業と参 詣

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
7	HAYASHI, Reiko	ユタ大学助教授	米国	05.07.17～ 05.08.15	日本社会事業大学	日本障害者自立生活センターとアジア諸国センターへの支援活動
8	LEFLAR, Robert B.	アーカンサス大学法学教授	米国	05.08.16～ 05.10.14	東京大学	患者安全、患者の権利：日米比較研究
9	LIFE, Theodore Reginald	グローバル・フィルムネットワークエグゼクティブ・ディレクター	米国	05.06.27～ 05.08.21	琉球大学	沖縄：条約と人々の意志
10	RATH, Eric, Clemence	カンサス大学助教授	米国	06.02.03～ 06.04.03	京都府立大学	ナスとクレイン：初期現代日本の調理法の開発
11	SEARIGHT, Amy Elizabeth	ジョージワシントン大学助教授	米国	05.08.02～ 05.08.22	－	貿易のツール：世界貿易機関の中での日本の貿易政策およびそれを越えた政策
12	WATT, Paul B.	デポー大学教授	米国	05.05.25～ 05.06.29	大谷大学	安田理深と浄土教仏教の現代再表明
13	MENDOZA, Emma	コリマ大学環太平洋研究センター APEC研究センター教授	メキシコ	05.06.15～ 05.08.11	東京大学社会科学研究所	APEC域内における代替可能な資源の開発と利用についての可能性
14	ILARI, Beatriz Senoi	パラナ連邦大学助教授	ブラジル	05.07.07～ 05.08.05	金城学院大学人間科学部現代子供学科	日本児童および日系児童の歌および童歌の記録
15	MELLO, Valeria Maria Sampaio	セアラ州立大学教授	ブラジル	05.06.15～ 05.07.29	－	第二次世界大戦後の日本教育史
16	MIYAZAKI, Silvio Y.M.	サンパウロ・カトリック大学教授	ブラジル	05.07.07～ 05.07.30	東京大学	日本とブラジル・チリ・メキシコ間との貿易の政治経済：二国間自由貿易協定への道
17	REIGOTA, Marcos A.S.	ソロカバ大学教授	ブラジル	05.08.01～ 05.09.29	上智大学ポルトガル・ブラジル研究センター	現代日本の自然観とその環境教育との連関
18	SAKURAI, Celia	ブラジル日本移民資料館学芸員	ブラジル	05.12.18～ 06.01.15	－	概説書『日本』の最終稿執筆
19	GONZALEZ LONGORIA, Silvia Lidia	ロス・アンデス大学研究者	ベネズエラ	05.07.16～ 05.08.28	一橋大学	日本のマスメディア：新世紀における社会、政治の影響

米州交流事業費

3. 催し等事業費 (1) 知的リーダー交流（国際会議出席助成・派遣）〔米〕

海外で開催される国際会議、シンポジウム等に招請され、講義、基調論文の発表を行なうなど指導的役割を果たす日本国内の人文、社会科学または芸術分野の専門家に対して助成を行なう。

合計額 164,840円

	氏名	現職	国	期間	受入団体	事業内容
1	齋藤 直子	京都大学大学院 教育学研究科助 教授	米国	05.06.07～ 05.06.11	ハワイ大学イースト・ウエストセンター哲学部	「教育とその諸目的：異文化間の哲学的対話」をテーマに、世界30カ国以上から集う哲学者、教育哲学者と共に、宗教、音楽、身体、メディア等のトピックを含む多角的視点から、教育について論じた。申請者は分科会・部会において、「民主主義・教育・解釈の政治学：デーユイ、カベルとプラグマティズムの可能性」をタイトルとした論文を発表

3. 催し等事業費 (2) 知的リーダー交流（国際会議出席助成・招へい）〔米〕

国内で開催される国際会議等（学会、シンポジウム、ワークショップおよび講演会を含む）において、重要な役割を担う諸外国の専門家を招へいする。

合計額 302,754円

	氏名	現職	国	期間	事業内容
1	ILIAS, Thomas	米国国立樹木園 園長	米国	05.04.01～ 05.04.09	シンポジウム「環境・さくら・文化交流」パネラーとして招へい

3. 催し等事業費 (3) 知的交流会議等開催（助成）〔米〕

日本と諸外国の相互理解の促進とより緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進することを目的とした、国際的な知的共同事業（国際会議、セミナー、ワークショップなど）を開催する。

合計額 10,908,135円

	事業名	団体	国	期間	事業内容
1	2005年渋沢北米セミナー	トロント大学マ ンクセンター	カナダ	05.04.01～ 06.03.01	現代日本が抱える重大な問題に関して、学際的・国際的に取り組むためのフォーラムの開催
2	ルーラ大統領下のブラジル外交政策：米州、東アジアへの影響	サンパウロ大学 高等国際関係研 究センター	ブラジル	05.04.01～ 06.03.31	ブラジルのルーラ新政権の外交政策におけるグローバル・リーダーシップ、WHOおよび地域的な自由貿易協定等を含んだ貿易投資促進などについて、その政策の効果を調査した

	事業名	団体	国	期間	事業内容
3	国際ペルー研究者会議	南山大学	ペルー	05.09.29～ 05.10.02	「政治暴力」、「植民地時代の再検討」、「文化遺産の有効活用」をメインテーマに、ペルーに関する研究を持ち寄り、合宿形式で討議した
4	森と水といのち～社叢が育む生命の根源～	特定非営利活動法人社叢学会	全世界区分困難	05.04.01～ 05.07.31	「社叢は生命の根源を現代社会に伝える文明装置である」という共通認識のもと、社叢の意義を敷衍するシンポジウムを開催した
5	21世紀ミュージアムサミット	財団法人かながわ学術研究交流財団	全世界区分困難	05.04.01～ 06.03.31	海外の主要なミュージアム館長からの基調報告やパネルディスカッションを通じ、ミュージアムの運営のあり方について討議した
6	Building an Innovative University for the Globalized World	国際教養大学国際会議実行委員会	全世界区分困難	05.10.15～ 05.10.17	グローバル時代における革新的な大学運営およびカリキュラム開発をテーマにした国際会議

4. 文化資料事業費	(1) 図書寄贈 [米]
------------	--------------

日本に関する理解・研究を促進するため海外の日本研究・教育機関や公共図書館などに日本関係図書等を寄贈。
合計額 16,669,504円

	国	機関	部数
1	カナダ	アルバータ大学図書館	70
2	カナダ	ヴィクトリア大学 マクファーソン図書館	113
3	カナダ	カールトン大学図書館	54
4	カナダ	カルガリー大学図書館	7
5	カナダ	ケベック大学 モントリオール校	90
6	カナダ	ブリティッシュ・コロンビア大学図書館	3
7	カナダ	マクマスター大学図書館	92
8	カナダ	モントリオール大学東アジアセンター	63
9	カナダ	ロイヤルオンタリオ博物館	26
10	米国	コースタル カロライナ大学	128
11	米国	セント・オラフ大学	62
12	米国	ハワイ大学マノア校図書館	7
13	米国	ボーデイン・カレッジ	47

米州交流事業費

	国	機関	部数
14	米国	メトロポリタン州立大学	128
15	エルサルバドル	エル・サルヴァドル国立総合大学	126
16	キューバ	マタンサス大学	124
17	ジャマイカ	ジャマイカ・ライブラリー・サービス	62
18	ドミニカ共和国	マドレ・マエストラ・カトリック大学	56
19	ホンジュラス	ホンジュラス国立教育大学図書館	29
20	メキシコ	エル・コレヒオ・デ・メヒコ	80
21	メキシコ	グアダラハラ自治大学	51
22	アルゼンチン	国立ラプラタ大学国際関係研究所	37
23	チリ	日智文化協会	66
24	チリ	バルパライソ・カトリック大学図書館	71
25	ブラジル	ゴイアス連邦大学中央図書館	10
26	ブラジル	サン・パウロ大学日本文化研究所テイイチ・スズキ図書館	40
27	ブラジル	サンパウロ大学リベロンプレット校	49
28	ブラジル	西中央州立大学	48
29	ブラジル	日伯文化連盟	32
30	ブラジル	ブラジリア大学中央図書館	43
31	ベネズエラ	ロス・アンデス大学	24
32	ボリビア	ボリビア・カトリック大学	125
33	グアテマラ	フランシスコ・マロキン大学	125